

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会						
①	指標名	地域社協コーディネイト			目標値	地域コーディネーター及びリーダー育成研修の実施	実績値	リーダー育成研修の実施
	過去の実績 (単位:)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 地域社協の役員及び運営委員を対象として、地域社協活動の推進に必要なと思われる力を身につけることを目的とした研修を実施した。 日時：平成19年3月9日 内容：テーマ「読まれる広報の作り方」 講師：リビングむさしの編集長（新山明子氏） 参加者：10地域35名						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 地域のリーダーを対象とした研修のみ行った。今後は社協の職員を対象とした研修も行っていくが地域へのリーダーの派遣については、地域社協と十分協議を行っていく必要がある。						
	二次評価	●18年度は、「地域コーディネーター及びリーダー育成研修の実施」という目標を設定したが、リーダー育成研修のみ実施したということで、当初の目標は達成できていない。 ●今後はしっかりと数値目標を設定して、計画的に事業を推進していく必要がある。						
②	指標名	会費収入			目標値	5,000,000	実績値	4,628,000
	過去の実績 (単位: 千円)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	92.6%	達成状況	未実施・未達成・達成
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①会員増強月間（7月）中に七夕のつどいを開催し、会員増強のPRを行った。 ②新規入会者分の会費相当額（13地域社協 29万円）を地域に還元した。 ③地域社協の総会や運営委員会、ボラセンが行う講座など多くの市民が集まる場では入会への誘いを必ず行った。 ④毎月発行の市民社協だより「ふれあい」を通じて、原則毎回入会案内の欄を設けて勧誘を行った。 ⑤毎月開催している職員会議で、職員へ会員拡大への取り組みを促した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 （会員の増減） 個人会員 2.6%増 団体会員 5.6%増 特別賛助会員 13.9%減 全体 2.2%増 （会費収入） 個人会員分は増えているが、特別賛助会員が減ったため全体では0.7%（約3万円）減少した。 （今後の取組） ・賛助会員の拡大は困難なので、団体会員と個人会員の拡大に努めていく。 ・会員になったことのメリットをつくり、市民社協だより「ふれあい」でPRしていく。						
	二次評価	●18年度は、会費収入をアップさせるという目標を設定していたが、実績としては17年度を若干下回り、目標を達成できなかった。 ●会員増強のPRを行い、会員数としては全体で2.2%増加しているものの（18年度3,023人、17年度2,959人）、特別賛助会員の減や会費の納入率の減（18年度85.15%、17年度85.47%）により、前年度より減額となっている。 ●今後は、会費の納入率のアップを図るとともに、会員の獲得を最重要課題として取り組んでいく必要がある。						
③	指標名	人事考課制度			目標値	平成20年度の制度導入	実績値	制度を導入している社会福祉協議会から聞き取り調査を行った
	過去の実績 (単位:)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 この制度を導入している東京都社会福祉協議会から資料を取り寄せ、制度の内容・現状・課題など聞き取り調査を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 18年度は資料の収集及び聞き取り調査を粗予定どおり行った。20年度の本格導入を目的にさらに検討をしていく。						
	二次評価	●武蔵野市民社会福祉協議会では、全職員に年4回業務執行状況報告書を提出させるなど、業務の進行管理や効率化に努めており、今後、人事考課制度の導入を検討していることは評価できる。 ●しかし、現状のような目標設定では達成度についての評価が困難である。しっかりと数値目標を設定し、計画的な人事管理・人材育成等を進めていく必要がある。						